

# 森の川自然散歩

2019年7月号



上：森の中の小枝で休む  
ナガサキアゲハのオス。

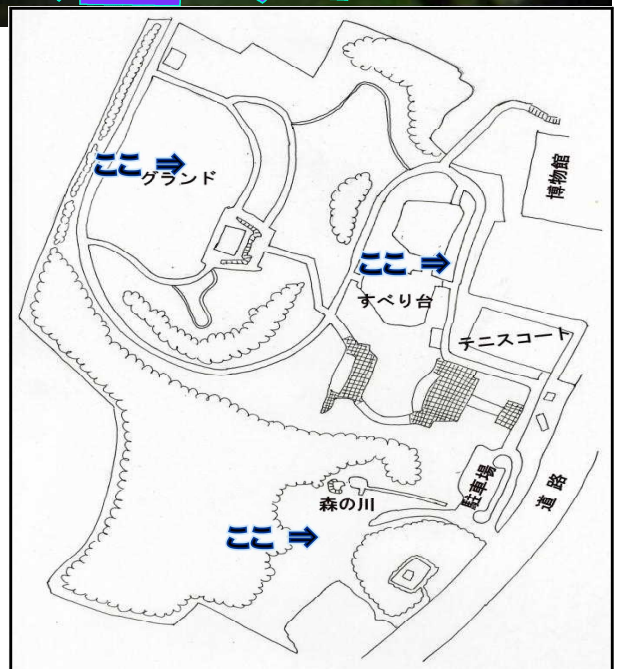
右：森の中の小枝に止まる  
ナガサキアゲハのメス。



## 森川を優雅にとぶ大型のチョウ

### ナガサキアゲハ（メモ）▶▶▶

- 翅を広げると13~14センチくらいで、アゲハチョウの仲間では大型の種類になります。メスの翅の白い模様がよく目立ちますが、オスの方は全身黒づくめの地味なスタイルです。
- アゲハチョウの仲間、後ろ翅の尾状突起（尾のように見るとんがり）がないことが大きな特徴です。
- 森の明るい所と暗い所が交互にあるような場所を、少し早めのスピードでひらひらと飛びます。
- 沖縄島では、普通に見られるチョウで、森川公園でも5月から夏にかけて、ウガンヌカタの前の広場や、遊歩道沿い、上のグラウンドの周囲などでよく見ることができます。



# 森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

## (29) 森川公園に植えてほしいな、テンニンカ

沖縄島の中南部の石灰岩地の森によく生えています。初夏に、直径が6～8センチくらいのピンク色の花を咲かせます。花は、ひとつの枝先に多数つくので、よく目立ちます。夏の終わりには、液果が熟し、食べると甘くておいしいです。

テンニンカは、漢字で表記すると「天人花」。天女伝説のある森川公園には、これ以上ない木だと思いませんか？。残念ながら、現在の公園内では見つかってはいません。かつては生えていたと思いますが、いろいろな整備の中で消えていったのかもしれませんが。今後公園樹を植樹する機会があれば、是非植えていただきたい植物のひとつです。



上：我如古の石灰岩地で咲いていたテンニンカの花。

# 森川公園7月の植物だより

日陰でひっそりと ～ アカギ ～



- 沖縄島の海岸低地から内陸にかけて普通に生えています。よく見かけるのは胸高直径が30～40センチくらいのもですが、御嶽などに生えるものでは、胸高直径100センチ、高さが25メートルほどになることもあります。
- 森川公園にはあまり大きな木はありませんが、ウガンヌカタの後ろの森や、モクマオウの通り道などに生えています。
- 樹肌が赤褐色をしていることが名前の由来ですが、雌雄異株の植物であることは、あまり知られていないようです。新芽の頃に雄花も雌花も花を咲かせます。

左：公園の森の端っこに生えているアカギの幼木。

博物館で森川公園の見取り図をもらって、  
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。  
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1  
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

